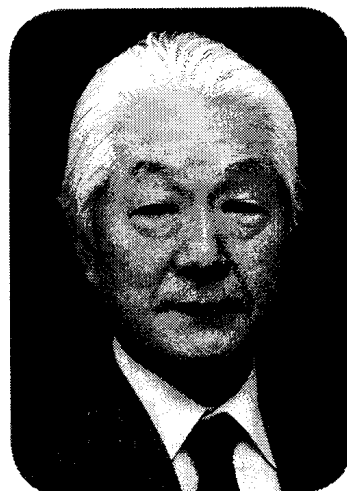


佐藤次高教授 年譜・主要著作目録



年譜

- 一九四二（昭和一七）年 八月 神奈川県横浜市に誕生
- 一九五五（昭和三〇）年 三月 神奈川県横浜市立二俣川小学校卒業
- 一九五八（昭和二三）年 三月 神奈川県横浜市立鶴ヶ峰中学校卒業
- 一九六一（昭和三六）年 三月 神奈川県立希望ヶ丘高等学校卒業
- 四月 東京大学理科Ⅱ類入学
- 一九六三（昭和三八）年 四月 東京大学文学部東洋史学科進学
- 一九六五（昭和四〇）年 三月 東京大学文学部卒業
- 四月 東京大学人文科学研究科修士課程入学
- 一九六七（昭和四二）年 三月 東京大学人文科学研究科修士課程修了
- 四月 東京大学人文科学研究科博士課程入学
- 一九六八（昭和四三）年 三月 東京大学人文科学研究科修士課程中退

- 四月 東京大学東洋文化研究所助手
- 一九七三（昭和四八）年 七月 流沙海西奨学会賞
- 一九七四（昭和四九）年 八月 お茶の水女子大学分教育学部専任講師
- 一九七六（昭和五一）年 四月 お茶の水女子大学分教育学部助教授
- 一九七九（昭和五四）年 四月 財団法人東洋文庫兼任研究員
- 一九八〇（昭和五五）年 四月 東京大学文学部助教授
- 一九八五（昭和六十）年 四月 東洋文庫研究部長補佐
- 一九八七（昭和六二）年 六月 東洋文庫付属ユネスコ東アジア研究センター副所長（東洋文庫研究部長補佐と兼任）
- 一九八九（平成二）年 四月 東洋文庫研究部長
- 一九九〇（平成三）年 三月 東京大学文学部教授
- 一九九六（平成八）年 四月 改組により東京大学大学院人文社会系研究科教授
- 一九九七（平成九）年 四月 「イスラーム地域研究」プロジェクト・リーダー（〇二年三月）
- 五月 日本中東学会会長（〇一年五月）
- 六月 史学理事長（九八年六月）
- 二〇〇〇（平成一二）年 六月 日本学士院賞・恩賜賞
- 二〇〇一（平成一二）年 一〇月 Member of the Regional Advisory Panel on the Middle Eastern and North African Studies, Social Science Research Council (New York)
- 二〇〇三（平成一五）年 三月 東京大学大学院人文社会系研究科教授を退官
- 二〇〇三（平成一五）年 四月 早稲田大学文学学術院教授
- 二〇〇六（平成一八）年 四月 人間文化研究機構（NIHU）プログラム・イスラーム地域研究・研究代表、早稲田大学イスラーム地域研究所長、早稲田大学現代イスラーム研究センター長

- 二〇〇八（平成二〇）年 九月 早稲田大学イスラーム地域研究機構長
 二〇一〇（平成二二）年 四月 日本學術振興会アジア・アフリカ學術基盤形成事業「イスラームと多元文化主義―イスラームとの共生に向けた基礎的研究」コーディネーター
 二〇一〇（平成二二）年 四月一日 逝去（享年六八歳）

主要著作目録

著書・編著

- 『中世イスラム国家とアラブ社会―イクター制の研究―』 一九八六年 九月 山川出版社
The Syrian Coastal Town of Jabala: Its History and Present Situation. Studia Culturae Islamicae 35, Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies, 1988.
 『マムルーク ―異教の世界からきたイスラムの支配者たち―』 一九九一年 三月 東京大学出版会
 『西アジア（上）』（屋形禎亮氏と共著） 一九九三年 六月 朝日新聞社
 『都市の文明イスラーム』（鈴木董氏と共編） 一九九三年 九月 講談社
 『イスラム社会のヤクザ―歴史を生きる任侠と無頼』（清水宏祐氏、八尾師誠氏、三浦徹氏と共編） 一九九四年 六月 第三書館
 『イスラームの「英雄」サラディン―十字軍と戦った男―』 一九九六年 五月 講談社
 （講談社学術文庫として再版 二〇一二年二月 講談社）
State and Rural Society in Medieval Islam: Sultans, Mughla's and Fallahun. Leiden, E. J. Brill, 1997.
 『イスラーム世界の興隆』（世界の歴史 八） 一九九七年 九月 中央公論社
 『イスラームの生活と技術』（世界史リブレット 一七） 一九九九年 一月 山川出版社

- 『聖者イブラーヒーム伝説』（角川叢書 一五） 二〇〇一年 三月 角川書店
- 『アラブ』（新版世界各国史 八 西アジア史 一）（編著） 二〇〇二年 三月 山川出版社
- 『キーワードで読むイスラーム―歴史と現在』（アジア理解講座 二）（編著） 二〇〇三年一〇月 山川出版社
- 『イスラーム地域研究の可能性』（イスラーム地域研究叢書 一）（編著） 二〇〇三年一二月 東京大学出版会
- 『イスラームの国家と王権』（世界歴史選書） 二〇〇四年 一月 岩波書店
- Muslim Societies: Historical and Comparative Aspects (New horizons in Islamic studies).* London, Routledge Curzon, 2004（編著）
- 『イスラーム世界のことばと文化』（岡田恵美子氏と共編） 二〇〇八年 三月 成文堂
- 『砂糖のイスラーム生活史』 二〇〇八年一二月 岩波書店
- 『イスラーム世界の興隆』（世界の歴史 八） 二〇〇八年一二月 中央公論新社（中央文庫）
- 『イスラーム 知の営み』（イスラームを知る 一） 二〇〇九年 九月 山川出版社
- 『イスラームの創始と展開』（宗教の世界史 一一 イスラームの歴史一） 二〇一〇年 山川出版社

翻訳

- イブラーヒーム・マドクル「イスラーム思想における人間観」S・ラダクリシュナン、P・T・ラジュ編著（勝部真長、
 広瀬京一郎編訳）『世界の人間論―八大思想に見る人間の探求』第二巻（全二巻） 一九七八年六月 学陽書房
- ベシーム・S・ハキーム『イスラーム都市―アラブのまちづくりの原理―』（監訳） 一九九〇年一二月 第三書館

ジヤネット・L・アブールゴト『ヨーロッパ覇権以前—もう一つの世界システム』上下巻
(斯波義信氏、高山博氏、三浦徹氏と共訳) 二〇〇一年一月 岩波書店

論文

RAWK 論序説—フサーム検地の場合—

一九六七年

『西南アジア研究』一八号

マムルーク朝におけるイクター制の展開—ナースィル検地の分析を中心として—

一九六九年 一月

『史学雑誌』第七八編一号

イスラム封建制度論

一九六九年一〇月

『岩波講座世界歴史』第八卷

封建制研究とイスラム

一九七一年

『歴史学研究』三七八号

Irrigation in Rural Egypt from the 12th to the 14th Centuries: especially in Case of the Irrigation in Fayyūm Province. *Orient*, 8, 1972.

一二—一四世紀のエジプト農村社会と農民—ファッラーフーンの農業生産と農業生活の様式—

一九七三年 二月

『東洋文化研究所紀要』第五九冊

マクリーズィーと『エジプト社会救済の書』

一九七四年

『東洋文化』第五四号

アリー・ムバーラクのエジプト農業社会論

一九七六年 四月

『アラビア研究論叢』日本サウディア

ラビア協会・日本クウェイト協会

イクター制成立史の研究—ブワイフ朝時代のイラクについて—

一九七七年 四月

『イスラム世界』第二二二号

イクター制下のエジプト農民—キンヌの概念をめぐる—

一九七七年

『江上波夫教授古希記念論集…歴史篇』

山川出版社

イスラム社会史への視点

一九七七年

一二月

『歴史学』(樺山紘一編)(日本評論社)

The Evolution of the Iqṭā' System under the Mamlūks: An Analysis of al-Rawḳ al-Husāmī and al-Rawḳ al-Nāṣirī. *Memoirs of the*

Research Department of the Toyo Bunko, 37. The Toyo Bunko (Tokyo), 1979

イラク社会の変容とイクター制

一九八〇年

『東洋学報』第六一巻三・四号

アミール・キトブガーへの覚え書

一九八一年

『東洋史研究』第三九巻四号

「西アジアにおける中世世界の成立」

一九八二年

『中世史講座』一 学生社

The Iqtā' System of Iraq under the Buwayhids. *Orient*, 18, 1982., pp. 83-104.

ムスリム都市の性格

一九八二年

『中東通報』九月号

バグダードの任侠・無頼集団

一九八三年

『社会史研究』三

マクリーズイーのエジプト農民論について―森本公誠氏に答える―

一九八三年

護雅夫編『内陸アジア・西アジアの社会と文化』山川出版社

エジプト・スィンヌーリス村の生活誌―13世紀の歴史から―

一九八四年

佐藤次高・富岡倍雄編『イスラム世界の人びと―農民』東洋経済新報社

Historical Character of al-Rawk al-Nāsiṭ in Mamlūk Syria. *Proceedings of the First International Conference on Bilad al-Sham*, 20-25

April 1974, Amman. 1984

イスラム世界における砂糖の生産と流通」

一九八六年

『アジア・アフリカにおけるイスラム化と近代化に関する調査研究』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

イスラーム世界の歴史と文化（本田実信と共同執筆）

一九八六年

『世界陶磁全集二 イスラーム』小学館

サラデインの宮廷図書売却問題

一九八六年

『イスラム圏における宗教運動に関する総合的研究』昭和五九・六〇年度

科学研究費補助金研究成果報告書

スルタンと奴隷

一九八六年

佐藤次高編『イスラム・社会のシステム』（講座イスラム三）筑摩書房

'Iqīā', Policy of Sultan Baybars I. *Orient*, 22. 1986.

巡礼—その社会経済的側面—

一九八七年

シンポジウム『巡礼—Part II—』中
近東文化センター

イスラーム史における十字軍

一九八七年

シンポジウム『十字軍』中近東文化
センター

ヌサイリー教徒の反乱—ジャバラ・一三二八年二月—

一九八九年

暦—ムスリムの生活技術と社会秩序—

一九九〇年

『東洋学報』第七一卷一・二号
『世界史への問い』二 岩波書店

中世西アジアの生活

一九九一年

『中世史講座』九 学生社

イスラーム都市の魅力—比較の視点から—

一九九一年

東京大学公開講座『都市』東京大学
出版会

一—一二世紀シリア地方社会の裁判官

一九九一年

『オリエント』第三四卷二号

アラブ・イスラーム世界の都城—バグダードとカイロ—

一九九二年

『学術月報』四五卷三号

アラブ・イスラーム世界の都城—バグダードとカイロ—

一九九三年

板垣雄三・後藤明編『イスラームの都
市性』日本学術振興会

バグダードの任侠と無頼

一九九四年

『イスラム社会のヤクザ』第三書館

聖者イブラーヒーム伝説—アラブの心を読む—

一九九五年

『へるめす』五四号

イスラーム地域研究の可能性

一九九七年

『学術月報』五〇卷一二号

The Proposers and Supervisors of al-Rawḥ al-Nāsiri in Mamluk Egypt. *Mamluk Studies Review*, 2. 1998.

イスラームの生活原理と『とき』

一九九九年

佐藤次高・福井憲彦編『ときの地域
史』山川出版社

イスラーム国家論—成立としくみと展開—

一九九九年

『岩波講座世界歴史』一〇

Jurispudence and Political Leadership in the Syrian Coastal Towns of Tripoli and Jabala: Qādīs during the 11th -12th Centuries.

Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko, 57. 1999.

Slave Elites in Islamic History. Miura Toru and J. E. Philips eds. *Slave Elites in the Middle East and Africa: A Comparative Study*. London, Kegan Paul International, 2000.

‘Ushr *The Encyclopaedia of Islam*, new ed., vol. 10. Leiden, E. J. Brill, 2000.

アラブ・イスラーム世界の拡大

二〇〇〇年

『地域の成り立ち』（地域の世界史三）
山川出版社

al-Yābānī *The Enclopaedia of Islam*, new ed., vol. 11. Leiden, E. J. Brill, 2001.

イスラームの国家と王権

二〇〇二年

イスラーム地域研究は何をめざすか

二〇〇三年

『岩波講座 天皇と王権を考える』第一巻
佐藤次高編『イスラーム地域研究の可能性』 東京大学出版会

Islam in Middle Eastern Studies: Muslims and Minorities. The Japan Center for Ethnology (JCAS) Symposium Series 7, 2003.

Sugar in the Economic Life of Mamluk Egypt. *Mamluk Studies Review*, 8-2. 2004.

アジア研究の新地平―イスラーム研究を中心に―

二〇〇四年

マムルーク朝時代の奴隷商人とカーリミー商人―比較の試み―

二〇〇四年

歴史を伝える

二〇〇五年

林佳代子・榊屋友子編『記録と表象
史料が語るイスラーム世界』 東京大
学出版会

ヌワイリーによる砂糖きびの栽培法と砂糖の製法

二〇〇五年

イブン・アル・ハッジジュによる砂糖精製所の実態

二〇〇五年

『イスラム科学研究』第一号
『イスラム科学研究』第二号

Mamluk Studies in Japan: Retrospect and Prospect. *Mamluk Studies Review*, 10-1. 2006.

Slave Traders and Karimi Merchants during the Mamluk Period. *Mamluk Studies Review*, 10-1. 2006.

Fiscal Administration in Syria during the Reign of Sultan al-Nasir Muhammad. *Mamluk Studies Review*, 11-1. 2007.

The Suft Legend of Sultan Ibrāhīm b. Adham. *Orient*, 42. 2007.

The Origin and Expansion of Sugar Production in the Islamic World. *Bulletin of the Graduate Division of Letters, Arts and Sciences of*

Waseda University, 54. 2009.

Prosperity (Imara) and Disasters (Fasad) in Egypt during the Ayyubid and Mamluk Periods: Focus on Sugar Production.

二〇一〇年 『イスラム科学研究』 第六号

学会動向

回顧と展望、西アジア・北アフリカ

一九六八年 『史学雑誌』 第七七編五号

現代エジプト・イラクのイスラム史家

一九七一年 『史学雑誌』 第八〇編八号

『ビラード・アッシャームの歴史』 国際会議

一九七五年 『史学雑誌』 第八四編一号

イスラム社会と奴隷軍人―最近の研究に寄せて―

一九八三年 『創文』 一二三三号

イスラムの都市性にかんする国際会議

一九九〇年 『東方学』 八〇輯

Recent Development in Chinese Islamic Studies, 1. *Asian Research Trend* (The Toyo Bunko), vol. 1. 1991.

Recent Development in Chinese Islamic Studies, 2. *Asian Research Trend* (The Toyo Bunko), vol. 2. 1992.

Recent Development in Chinese Islamic Studies, 3. *Asian Research Trend* (The Toyo Bunko), vol. 3. 1993.

イスラム世界―西アジアを中心として―

一九九二年 『社会経済史学の課題と展望』 有斐閣

The Present Situation of Islamic and Middle Eastern Studies in Japan. *Annals of the Japan Association for Middle East Studies*, 7. 1992.

日本のイスラム研究―二一世紀に向けて―

一九九六年 『中央評論』 二二七号

一九九七年の歴史学会―総論

一九九八年 『史学雑誌』 第一〇七編五号

西アジア・イスラーム学の継承と発展—ヨーロッパ・中東・日本—

二〇〇〇年 『東方学』一〇〇輯

Islamic and Middle Eastern Studies in Japan since 1945. *Annals of the Japan Association for Middle East Studies*, no. 17, Special Issue:

Middle Eastern and Islamic Studies in Japan. 2002.

西アジア・イスラーム地域研究の新展開

二〇〇二年 『学術月報』五五巻四号

The Islamic Area Studies Project in Japan, 1997-2002: Its Achievements and Future Prospects. *Asian Research Trend, New Series*, No. 1.

The Toyo Bunko, 2006.

中東・西欧イスラームの騎士と官僚—「剣の人」と「筆の人」二〇〇八年

笠谷和比古（編）『官僚制と封建制の比較文明的考察』 思文閣出版

New Perspective in Islamic Area Studies. *Asian Research Trend, New Series*, No. 4. The Toyo Bunko, 2009.

書評

ギブ著『イスラム文明の研究』（H. A. R. Gibb, *Studies on the Civilization of Islam*. London, 1962）

一九六六年 『東洋学報』第四八巻四号

ファイズイー著『現代におけるイスラム研究』（A. A. Fyzee, *A Modern Approach to Islam*. Asia Publishing House, 1967）

一九六六年 『イスラム世界』第六号

ラピドス著『中世後期のイスラム都市』（I. M. Lapidus, *Muslim Cities in the Later Middle Ages*, Cambridge, Mass., 1967）

一九六八年 『東洋学報』第五一卷四号

ラビー著『エジプトの財政制度—一六九—一三四一年』（H. Rabie, *The Financial System of Egypt A.H. 564-741/A.D. 1169-1341*. London, 1972）

一九七二年 『史学雑誌』第八二編九号

イブン・アブド・アッザーヒル著『バイバルス伝』の新刊行史料一九八三年

『東洋学報』第六四巻一・二号

Baber Johansen, *The Islamic Law on Land Tax and Rent: The Peasants' Loss of Property Rights as Interpreted in the Hanafi Literature of The Mamluk and Ottoman Period* (London/New York, 1988). *The Journal of Law and Religion*, vol. 15, No. 1-2 (2001-2002).

小論・エッセー

国家と宗教について―問題提起―

一九六八年

『アジア文化研究』一

カイロの繁栄

一九六八年

『イスラム世界』世界文化社

ムハッラム月一〇日のバグダード

一九七一年

『アジアアフリカ図書』Ⅱ―一

マクリーズイーの生家とハーラ共同体

一九七五年

『お茶の水史学』一九

ジャーヒズとトルコ人奴隷兵

一九七八年

『月刊シルクロード』第四卷第七号
(八・九月特集号 アジア・アラブ特

集・イスラーム文明の源流)

イスラム世界の形成

一九七九年

堀敏一、山崎利男編『概説東洋史』有

斐閣

イスラム世界の展開

一九七九年

堀敏一、山崎利男編『概説東洋史』有

斐閣

ムスリムの生活―旅を中心に―

一九七九年

『月刊歴史教育』第一卷第五号

カイロの書店雑記

一九七九年

『イスラム世界』第一六号

ナイルの増水祈願

一九八一年

『歴史と地理』三〇六

イスラム社会の『もてなし』と『公』

一九八二年

『月刊百科』一〇

バグダードのカジノ

一九八三年

『東西交渉』五三

歴史紀行、アラブの古戦場を訪れて

一九八五年

牟田口義郎編『イスラムの戦争』

世界史の中の税―土地税ハラージュを中心に―

一九八七年

現代エジプトの宗教事情―カイロ・タンター・ファイユーム―

一九八七年

ジャバラ―現代に生きるシリアの海岸都市―

一九八七年

イクター制と現代アラブ社会

一九八七年

イスラム都市への旅―シリアの海岸都市ジャバラの調査課―

一九八八年

イスラム都市と中国都市―比較の視点から―

一九八九年

イスラム世界の発展

一九八九年

保護と代償―イスラーム税法の土台―

一九八九年

イスラーム社会の展開

一九八九年

セルジューク朝の興隆

一九八九年

街区と任侠・無頼―バグダードのアイヤール―

一九八九年

モンゴル軍と十字軍の脅威

一九八九年

都市に生きることとイスラム都市の示唆

一九八九年

イスラームの奴隷商人たち

一九八九年

エジプトの民衆を描く―歴史家マクリーズィー―

一九八九年

奴隷もまた人間―イスラーム社会の多彩な顔―

一九九〇年

ベラム装アラビア語文書

一九九〇年

嶋田先生と日本のイスラム学

一九九一年

サラディンと十字軍の戦い

一九九一年

ラマダーン月の砂糖

一九九一年

週刊朝日百科『日本の歴史』五一

片倉もとこ編『人々のイスラーム』日本放送協会

『歴史と地理』三八四

『MAYDAN』一三三

読売新聞（二月八日夕刊）

『中東協力センターニュース』

週刊朝日百科『世界の歴史』三一

週刊朝日百科『世界の歴史』三二

週刊朝日百科『世界の歴史』三六

週刊朝日百科『世界の歴史』四一

週刊朝日百科『世界の歴史』四四

週刊朝日百科『世界の歴史』五一

読売新聞（二月一六日夕刊）

週刊朝日百科『世界の歴史』五八

週刊朝日百科『世界の歴史』六三

週刊朝日百科『世界の歴史』八九

『第六四回東洋文庫展示会』東洋文庫

『東方学』八一輯

『Friendly』一〇〇巻九〇号

『UP』一一一五

イスラーム都市の魅力―比較の視点から―

一九九一年

東京大学公開講座『都市』 東京大学
出版会

私の古典―アラブの歴史家たちとの出会い―

一九九二年

『中東研究』三六五

アラビア語を話すアホンたち―中国ムスリム地区を歩く―

一九九二年

『しにか』三一七

小高先生と『万定』のカレー・ライス

一九九四年

『中東研究』三九〇

ヴェラム装アラビア語文書

一九九四年

『東京人』八六

七都市歴史紀行―イクター制の新史料を求めて(1)―

一九九四年

『歴史と地理』四七一

イスラーム世界の旅行家たち

一九九五年

佐藤次高編『人物世界史・東洋編』山
川出版社

サラディン―イエルサレム解放の英雄

一九九五年

佐藤次高編『人物世界史・東洋編』山
川出版社

七都市歴史紀行―イクター制の新史料を求めて(2)―

一九九五年

『歴史と地理』四七四

アジア史の親しみ

一九九五年

聖教新聞(二月二八日)

イスラーム研究の三〇年

一九九七年

『財団桜陰だより』一一

護雅夫先生を想う

一九九七年

『東方学』九四輯

『大航海時代』への視点

一九九七年

聖教新聞(二月四日)

In Memory of the Late Professor Mori Masao. *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko*, 55. 1997.

パピルス之国と和紙の国の交流

一九九八年

『国際交流』七九

イスラーム研究のいま―新しい潮流の行方―

一九九八年

『アジア研ワールド・トレンド』三八

アラブ・イスラーム研究者への道へ

一九九九年

『鶴ヶ峰』創立五〇周年記念誌

散歩于天方夜譚

一九九九年

『新疆回族文学』四号

対談『文明の衝突』を超えて（北村文夫氏と対談）

一九九九年

イスラーム研究 焦眉の課題

二〇〇〇年

聖者イブラーヒームとの旅

二〇〇一年

新プロ『イスラーム地域研究』の可能性

二〇〇一年

『再生』の場としての文学部

二〇〇一年

イスラムの歴史と文化を知る

二〇〇一年

私のなかに吹く風（コラム 歴史の風）

二〇〇一年

ネットワーク化が進む日本のイスラーム学

二〇〇二年

イスラーム地域研究の新地平—プロジェクトをふりかえって—
いまイスラムをどう理解するか

二〇〇二年

二一世紀の地域研究と図書館の役割

二〇〇三年

読書案内「聖地イエルサレム」を読む

二〇〇三年

座談会 グローバル化したイスラーム—地域研究の新しいモデルを求めて（濱下武志、小松久男と対談）

二〇〇三年

『JPR』第三七三号

イスラーム都市（特集…都市とは何か）—（都市の多様性）

二〇〇四年

『環—歴史・環境・文明』一七（春号）

藤原書店

アジア史研究の新地平—イスラーム研究を中心に（アジアへの視座）

二〇〇四年

史学会（編）『歴史学の最前線』東京

大学出版会

スルタン・イブラーヒームその後

二〇〇四年

『三笠宮殿下米寿記念論集』刀水書房

菊間順吾監修『イスラムの誘惑』新潮社

『史学雑誌』第二一〇編七号

『本とコンピュータ』春号

読売新聞（四月一六日夕刊）

『月刊百科』四七五

『アジア研ワールド・トレンド』九〇

『歴史と地理』五六四

世界史Q&A イスラーム社会の「聖職者」について

二〇〇四年

『歴史と地理』五七九

先學を語る―護雅夫博士―

二〇〇四年

『東方学』百八輯

聖者と魚―もうひとつのイスラーム地域研究

二〇〇五年

『JIP』第三九三号

書評を読んで（書評と紹介『イスラーム地域研究叢書』）

二〇〇五年

『イスラム世界』第六五号

世界史Q&A イクター制とプロノイア制―どこが同じで、どこが違うのですか

二〇〇五年

『歴史と地理』五八九

イスラーム地域研究の新展開

二〇〇七年

『歴史と地理』六〇一

東洋文庫「東洋学講座」五〇〇回記念講演会によせて

二〇〇七年

『JIP』三六―五

円錐形の砂糖ウブルージュについて（短報）

二〇〇七年

『イスラム科学研究』第三号

世界史Q&A ムスリムの人名について教えてください

二〇〇八年

『歴史と地理』六一一

総論・イスラーム世界との出会い（イスラーム世界への旅）

二〇〇八年

『イスラーム世界のことばと文化』成文堂

イスラーム地域研究の新展開

二〇〇八年

『論壇人間文化』vol.3 人間文化研究

機構

アジア・イスラーム学への展望（特集・イスラーム―高揚するアジアのイスラーム）

二〇〇九年

『ワセダアジアレビュー』六 日経BP社

イスラーム地域研究―歴史と展望―

二〇〇九年

『イスラーム地域研究ジャーナル』第一号

イスラーム地域研究に吹く風

二〇一〇年

『歴史書通信』一八七 歴史書懇話会

くつろぎの水と地域研究（巻頭）

二〇一〇年

『イスラーム地域研究ジャーナル』第二号

二五年ぶりのイラク（巻頭）

二〇一一年

『イスラーム地域研究ジャーナル』第三号